

セッション1 気候システムにおける水

- そこで、本セッションでは**マルチスケール**と**相互作用**をキーワードとして、大気・海洋、および全球規模・メソスケール、それぞれの視点から最新の話題を提供し、水に関わる気候システム研究の今後についての議論を試みる。(セッション1紹介文より)
- **相互作用**という観点(熱源としての水・物質としての水)
 - ・ 放射過程(長波):エアロゾル-雲相互作用(**S4**)
熱源としての放射過程(渡部さん・對馬さん)。
 - ・ 放射過程(短波):大気-雪氷相互作用
 - ・ 陸面水文過程 :大気-陸面相互作用(**S2**)
 - ・ 蒸発過程 :大気-海洋、大気-陸面相互作用(**S2**)
 - ・ 凝結・降水過程 :大気境界層、積雲、大規模凝結(**S4**)
熱源として大気循環を駆動する(渡部さん)。
- 必要な研究内容
 - ・ 各素過程の理解
 - ・ パラメタリゼーションの改善

セッション1 気候システムにおける水

● マルチスケールという観点

- ・ 各素過程を理解しようとする際に、どのような時間・空間スケールで理解するか。
 - ・ 現象の階層構造とモデル化(渡部さん)。
- GCMに組み込めるようにアップスケールする際に、必要となる情報(パラメータ)は何か？
- ・ 総水量の確率密度分布(篠田)
 - ・ 積雲過程と大規模凝結過程の相互作用(對馬さん)

● 大気－海洋相互作用

- ・ 海面と大気の熱的コントラスト
- 大気循環に対する海洋の役割(谷本さん)
- ・ 大気、海洋それぞれがお互いの境界面しか意識していない(立花さん)

● 観測的研究をどのように活かすか？

- ・ 海洋上における大気観測の可能性(谷本さん)
- ・ 放射量についての観測結果とモデル結果の相違(對馬さん)
- ・ 一点観測の結果をそのままGCMに反映させて良いのか？(篠田)